

追悼 鑑幹八郎先生

鑑幹八郎先生を偲んで

日本心理研修センター

村瀬嘉代子

鑑幹八郎先生が御逝去されたとお報
様から日本心理研修センターにお報
せ戴いた時は驚き絶句した。そのお
電話を戴いた三週間程前に、当セン
ターの評議委員会にご出席下さり、
エレベーター前でお見送りするセン
ター職員に「皆さん、ご苦労が多い
ことでしょう、健康に気をつけて」
と優しく微笑まれた時はお元気そう
でいらっしやいましたのに……。

先生は日本心理臨床学会会長を務
められたのを始め、様々な面で、我
が国の臨床心理学の発展のために大
きな御功績を残された。ただ、この
あたりのことについては他の方が語
られると思うので、私は先生が残さ

れた御功績や様々にお持ちでいらっ
しやった美德のうち、外国文化を受
け入れるに際して、それをただ先人
の優れた説や技法として受け入れる
のではなく、その理論が提唱される
に到った背景要因について周到に考
慮され、その理論や技法が生まれる
に到った歴史的背景、その理論が生
み出されたその地の文化の特質、さ
らには社会経済的状况なども考え
られて、我が国でその理論や技法を
取り入れ活かすにはどういう配慮が
要るかということを深くお考えにな
っていたところが私の尊敬するところ
であり、また共鳴するところでも
あった。

鑑先生が広島大学御在任中、大学
院の集中講義に招いて戴いたが一週
間のうち、昼間、多くの時間に教室
にお出ましになって、院生と一緒に
討論に御参加下さったが、自由闊達
さと問題追及への厳しさが絶妙にバ
ランスがとれていて、今も記憶に鮮
やかな充実した時間であった。そし
て、夕食を御一緒しながら、E・
H・エリクソンがアイデンティティ
という概念を提唱するに到った必然
性や背景要因、彼のような複雑な生
育背景を持たなかったり、基本的に
同質民族という感覚を持つ日本人が
複雑な或いは異なる文化、歴史的背
景、社会経済的要因、つまり自分た
ちと異なる背景要因の下に生まれた
理論や技術をいかに受け入れ、その
特質を効果的に臨床実践にどのよう
に活かすのかなど、本質的で真剣な
内容の会話を交わしながら時にユー

モアを交えて、真摯であるけれど重
くなりすぎない実り豊かな会話の時
を過ごさせて戴いたのも懐かしくか
つ貴重な思い出である。

公認心理師法が成立したのを機に
開かれた広島臨床心理士会総会にお
招き下さった折、鑑先生は法文に明
記されている公認心理師の職責につ
いて、これまでとはどこが違うのか、
その責任の重さを自覚する必要性に
ついて諄々と説かれた。外国の文化
をどう取り入れて自分なりに如何に
適切に活かすか、事に当たっては責
任を自覚する、先生から伝えられた
大切な課題、これらを事を処すに際
して、しっかりと活かしていきたい。
鑑先生のご冥福を心よりお祈り申し
あげます。